

- 期 日 9月8～11日 11月4～6日
- 人 員 中・高の一般 47名
- 内 容 事例研究 生徒理解 思春期の心理 性格検査
- (2) 高等学校生徒指導講座 [1次]
- 期 日 7月2～5日
- 人 員 一般 23名
- 内 容 事例研究 生徒理解 教育相談 中途退学問題

16 教育相談講座

- (1) 学校カウンセラー講座—初級・小学校— [共通]
- 期 日 6月2～5日
- 人 員 一般50名(養2)
- 内 容 相談面接法、エゴグラム 発達期の心理 検査
- (2) 学校カウンセラー講座—初級・中学校— [共通]
- 期 日 9月1～4日
- 人 員 一般50名(養3)
- 内 容 相談面接法 エゴグラム 発達期の心理 検査
- (3) 学校カウンセラー講座—初級・高等学校— [共通]
- 期 日 10月13～16日
- 人 員 一般 36名
- 内 容 相談面接法 エゴグラム 発達期の心理 検査
- (4) 学校カウンセラー講座—中級— [共通]
- 期 日 7月2～5日 11月10～13日
- 人 員 小・中・高・養の初級修了者 41名
- 内 容 行動療法 自律訓練法 感受性訓練 交流分析
- (5) 学校カウンセラー講座—上級— [共通]
- 期 日 6月16～19日 9月29～10月2日 1月26～29日
- 人 員 中・高の中級修了者 30名
- 内 容 教育相談の課題 精神医学 カウンセリング実習
- (6) 教育相談講座—子どもの理解と対応—
※ 各講座に併設

17 情報処理教育講座

- (1) 小学校情報処理教育講座 [共通]
- 期 日 9月29～10月3日
- 人 員 一般 16名
- 内 容 パソコン操作 BASICプログラミング入門
- (2) 中学校情報処理教育講座 [共通]
- 期 日 10月27～31日
- 人 員 一般 16名
- 内 容 コンピュータ操作 BASICプログラミング入門
- (3) 高等学校情報処理教育講座—COBOL I— [共通]
- 期 日 7月28～8月1日
- 人 員 担当 10名
- 内 容 プログラミング入門 COBOLプログラムの構造
- (4) 高等学校情報処理教育講座—COBOL II— [共通]
- 期 日 9月16～20日
- 人 員 担当 10名
- 内 容 判定を含むプログラム コントロールブレイク
- (5) 高等学校情報処理教育講座—FORTRAN I— [共通]
- 期 日 6月16～20日
- 人 員 担当 13名
- 内 容 T S S端末機操作 プログラミング入門

- (6) 高等学校情報処理教育講座—FORTRAN II・III—[共通]
- 期 日 7月21～25日
- 人 員 担当 5名
- 内 容 FORTRANプログラミングの基礎 DATA文A変換
- (7) 高等学校情報処理教育講座—BASIC I— [共通]
- 期 日 1班6月2～6日 2班6月23～27日
3班9月8～12日
- 人 員 1班 担当 18名 2班 担当 18名
3班 担当 18名
- 内 容 パソコン操作 BASICプログラミング入門
- (8) 高等学校情報処理教育講座—BASIC II— [共通]
- 期 日 11月4～8日
- 人 員 担当 19名
- 内 容 BASICプログラミングの基礎 画面制御
- (9) 高等学校情報処理・技術講座 I [共通]
- 期 日 10月13～16日
- 人 員 担当 10名
- 内 容 O Rとシミュレーション システム設計
- (10) 高等学校情報処理・技術講座 II [共通]
- 期 日 11月10～13日
- 人 員 担当 10名
- 内 容 O Sの概要 アプリケーションプログラム技法
- (11) 高等学校図形処理講座 I [共通]
- 期 日 8月4～8日
- 人 員 担当 10名
- 内 容 C A D / C A M N C自動プログラミング
- (12) 高等学校産業教育実技講座(工業) [共通]
- 期 日 9月24～27日
- 人 員 担当 15名
- 内 容 C A D / C A M 自動製図 機械語 基本制御

第3節 教育研究

1 学校の教育目標と教育課程に関する研究

教育目標の具現化については、各学校の実践的研究も多く、その成果についての報告も多いが、その反面、学校現場における指導の実際をみると、教育目標と教育実践の間には、有機的関連が図られていないのではないかと、教育目標が学校の置かれている現実から遊離した教育理念の表現にのみ止まっているのではないかなど、教育目標が学校の教育活動の中に生きてはたらかないことに対する問題点の指摘も多い。

本研究は、これらの教育目標具現化に関する学校現場の持つ問題点を探ると共に、教育目標を日常の教育活動全体の中に具体化し関連づける方途を見出し、各学校の教育目標具現化のために役立てようとしたものである。

研究内容は、要約すると次のとおりである。

- (1) 教育目標設定過程での問題点の追求のし方に関する事例
- (2) 教育課程の編成に際しての教育目標の関連づけに関する事例